

会

報

社団法人 日本病理学会
〒113-0033
東京都文京区本郷2-40-9
ニュー赤門ビル 4F
TEL: 03-5684-6886
FAX: 03-5684-6886
E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
http://jsp.umin.ac.jp

社団法人日本病理学会

第 277 号

平成 23 年 (2011 年) 2 月刊

1. 平成 23 年度日本病理学会病理専門医試験について

平成 23 年度の病理専門医試験は、7月30日(土)、31日(日)に東京医科大学にて行われます。

今年より、平成 17 年度医籍登録者につきましては、新受験資格にて資格審査が行われます。受験希望者は申請書類を学会事務局よりお取り寄せください(その際、新受験資格あるいは従来の受験資格かを明示ください)。

<平成 17 年度以降の医籍登録者(新受験資格)>

1. 病理専門医試験を受験しうる者は、日本病理学会病理専門医制度規程により下記の資格すべてをそなえた者であること。

- (イ) 日本国の医師免許を取得していること
- (ロ) 死体解剖保存法による死体解剖資格を取得していること
- (ハ) 出願時 3 年以上継続して日本病理学会会員であること
- (ニ) 病理専門医受験申請時に、厚生労働大臣の指定を受けた臨床研修病院における臨床研修(医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定)を修了していること
- (ホ) 上記(ニ)の臨床研修を修了後、日本病理学会の認定する研修施設において、4 年以上人体病理学を実践した経験を有していること。また、その期間中に病理診断に関わる研修を修了していることとし、その細則は別に定める。なお、法医学での研修期間は、2 年(法医学専攻の大学院修了者)までを充当することができる。
- (ヘ) 人体病理学に関する原著論文または学会報告が 3 編以上あること
- (ト) 人格・識見に関する研修指導者の推薦があること
- (チ) 人体病理業務に専任していること

2. 病理専門医試験を受けるには、受験願書及び資格審査申請書に必要な書類を添付して、日本病理学会へ申請するものとする。

3. 資格審査申請書について

1) 資格審査申請書は、日本病理学会が病理専門医の資格があるかどうかを審査するに必要な書類である。したがって、その記載内容が適正であり、かつ、誤りや不明な点がないよう留意すること。

2) 資格審査申請書には、必ず同封の所定の用紙を使用し、2 部(1 部は写しで可)を提出すること。

4. 病理専門医試験に必要な書類は、次の通りである。

- 1) 試験願書(写真 4×3cm 2 葉、受験票を含む)
- 2) 臨床研修の修了証明書(写し)
- 3) 剖検報告書の写し(病理学的考察が加えられていること) 40 例以上
- 4) 組織診経験症例数申告書 5,000 件以上
- 5) 細胞診経験症例数申告書 1,000 件以上(スクリーニング・陰性例を含む)
- 6) 術中迅速診断報告書の写し 50 例以上
- 7) CPC 報告書(写し) 病理医として CPC を担当し、作成を指導、または自らが作成した CPC 報告書 2 症例以上(症例は(3)の 40 例のうちでよい)
- 8) 病理専門医研修指導責任者の推薦書、証明書(日本病理学会が提示する病理専門医研修手帳)
- 9) 病理組織診断に関する講習会への参加を証明する書類あるいは参加証の写し
- 10) 細胞診に関する講習会への参加を証明する書類あるいは参加証の写し
- 11) 日本病理学会主催の剖検講習会の受講証の写し
- 12) 業績証明書 人体病理学に関連する原著論文または

会費口座自動振替のお知らせ

平成 23 年度会費・病理専門医部会のお引き落とし予定日は、今年から 6 月 23 日です。お届け口座のご確認をよろしくお願いいたします。

学術集会会場での現金による会費納入のお取扱いはしていません。郵便振替もしくは口座自動振替をご利用下さい。

社団法人日本病理学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9 ニュー赤門ビル 4F
TEL: 03-5684-6886 FAX: 03-5684-6936
e-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

学会発表の抄録コピー別刷り3編以上

- 13) 日本国の医師免許証 写し
- 14) 死体解剖資格証明書 写し

＜平成16年度以前の医籍登録者(従来の受験資格)＞
平成23年度日本病理学会病理専門医試験申請要綱

1. 病理専門医試験を受験しうる者は、日本病理学会病理専門医制度規程により下記の資格すべてをそなえた者であること。
 - (イ) 日本国の医師免許を取得していること。
 - (ロ) 死体解剖保存法による死体解剖資格を取得していること。
 - (ハ) 出願時3年以上継続して日本病理学会会員であること。
 - (ニ) 日本病理学会の認定する研修施設において5年以上の人体病理学を实践した経験をもち、その期間中に次の各項の研修を修了していること。ただし、5年の実践期間のうち最高1年までを、厚生労働大臣の指定した臨床研修病院における臨床研修(臨床検査医学研修を含む)をもって充当すること、また、法医の研修期間は、2年(法医学専攻の大学院修了者)までを充当することができる。
 - (a) いちじるしく片寄らない症例についてみずからの執刀による病理解剖(剖検)を行い、病理解剖最終診断報告書を作成した剖検例を40例以上経験していること。
 - (b) いちじるしく片寄らない症例についてみずから病理組織学的診断を行った生検ならびに手術切除検体5,000例(50例以上の術中迅速診断を含む)以上を経験していること。
 - (c) 日本病理学会(支部を含む)、国際病理アカデミー日本支部等の主催する病理組織診断に関する講習会を受講していること。
 - (d) 日本病理学会等の主催する細胞診に関する講習会を受講していること。
 - (ホ) 人体病理学に関する原著論文または学会報告が3編以上あること。
 - (ヘ) 人格・識見に関する研修指導者の推薦があること。
 - (ト) 人体病理業務に専任していること。
2. 病理専門医試験を受けるには、受験願書及び資格審査申請書に必要書類を添付して、日本病理学会へ申請するものとする。
3. 資格審査申請書について
 - 1) 資格審査申請書は、日本病理学会が病理専門医の資格があるかどうかを審査するに必要な書類である。したがって、その記載内容が適正であり、かつ、誤りや不明な点がないよう留意すること。
 - 2) 資格審査申請書には、必ず同封の所定の用紙を使用し、2部(1部は写しで可)を提出すること。
4. 病理専門医試験に必要な書類は、次の通りである。
 - 1) 試験願書(写真4×3cm 2葉、受験票を含む)
 - 2) 受験資格審査申請書

- 3) 医師免許証の写し 1部
- 4) 死体解剖資格認定証明書の写し 1部
- 5) 研修施設が日本病理学会認定の研修施設(認定施設および登録施設)であることの証明書の写し
- 6) 人体病理学についての業績(原著あるいは学会演題抄録)3編の別刷ないし写し 1部
- 7) 40例の剖検症例の剖検診断書(報告書)のコピー(申請者の署名必須)を付した病理解剖リスト 1部
- 8) 迅速診断についての経験症例50例のリストならびに報告書の写し(署名入り) 1部
- 9) 病理組織診断に関する講習会への参加を証明する書類あるいは参加証の写し
- 10) 細胞診に関する講習会への参加を証明する書類あるいは参加証の写し
- 11) 日本病理学会主催の剖検講習会の受講証の写し
- 12) 推薦書 1部

＜両者共通＞

1. 申請期間：平成23年4月1日より平成23年5月6日まで(消印有効)
試験実施日：平成23年7月30日(土)、31日(日)
試験会場：東京医科大学
2. 受験手数料として、金30,000円を申請時前納すること。
3. 試験合格者は、認定証交付時に資格認定料金20,000円を納入すること。
4. 試験合格者は、自動的に病理専門医部会員になり、部会費年額金6,000円を納入すること。
5. 申請宛先
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9
ニュー赤門ビル4F 日本病理学会事務局
TEL：03-5684-6886 FAX：03-5684-6936
E-mail：jsp-admin@umin.ac.jp

注意事項

- 1) 申請書へ必要事項を記載するにあたっては、別紙「記載例」(ここでは省略)および別記「病理専門医試験申請の書類作成に関する注意事項」を参照すること。
- 2) 記載項目の中で、記載しきれない事項は備考欄を使用すること。
- 3) 病理診断講習会に関する講習会とは、日本病理学会(支部を含む)、国際病理アカデミー日本支部等の主催する病理組織診断に関する講習会で、春期日本病理学会総会時の病理診断講習会と病理専門医の更新時クレジットの対象集会のみが該当する。
- 4) 細胞診に関する講習会とは、医師を対象とし全域を網羅したものであることが要件であり、現時点では日本病理学会主催による「細胞診講習会」および日本臨床細胞学会による「細胞診断学セミナー」のみが該当する。細胞診専門医は受講不要である(認定証写しを添付すること)。

4. The application must give a clear rationale for how the award will promote collaborative scholarly activities such as research. It must include a well developed plan of expenditure and how the money will provide a basis, as seed corn, for meaningful long term collaboration. Examples of possible applications might include the support of a research fellow to travel from one institution to the other for a period of research, or to support travel costs, or the costs of exchange of samples. Evidence for sustainability of the collaboration and mutual benefit are essential.
5. TA 2 page A 4 report of the collaborative activities must be sent to the Deputy Administrator of the Pathological Society of Great Britain and Ireland and the Secretariat of the Japanese Society of Pathology one year after the award is made. Failure to provide a report will preclude future support in this and other schemes run by the two Societies.
6. TIt is anticipated that the successful recipients would present work at a future meeting of either the Pathological Society of Great Britain and Ireland or the Japanese Society of Pathology.
7. TThe two Societies will normally withdraw funding if the grant is not acknowledged and accepted within 6 months of the offer.

対 象 者：日本病理学会会員(英国と共同研究を計画していること)

応募方法：共同研究計画概要と共同研究組織について、日本病理学会ホームページより応募書式をダウンロードの上、英語でご記入下さい。

提 出 先：東京都文京区本郷2-40-9 ニュー赤門ビル4F 社団法人日本病理学会事務局

締め切り：平成23年4月15日選考は国際交流委員会で行い、理事会審議にて決定します。

本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または国際交流委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

国際交流委員長(笹野公伸)：

TEL 022-717-7450 FAX 022-273-5976

4. 登録施設(第33回)の登録承認について

標記の件につき、下記の施設につきましても登録の承認ができておりましたのでお知らせいたします。

登録番号：7055 独立行政法人国立病院機構小倉医療センター

登録期間：平成22年4月1日から平成24年3月31日

5. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

平間元博 学術評議員(平成22年6月15日ご逝去)

佐野壽昭 学術評議員(監事 平成23年2月10日ご逝去)

大秋美治 学術評議員(平成23年2月14日ご逝去)

お知らせ

1. 第52回日本神経病理学会総会学術研究会について — 神経病理コアカリキュラム教育セミナー —

会期：2011年(平成23年)6月2日(木)～6月4日(土) (教育セミナー：平成23年6月2日 午前9時～午後4時30分予定)

会場：京都テルサ

プログラム：

教育コースプログラム

- ・マクロ検索法(小柳清光)
 - ・染色と細胞病理概論(新井信隆)
 - ・神経解剖学的な観察のポイント(石原健司)
 - ・先天奇形・発達障害(水口雅)
 - ・神経変性疾患(1) タウオパチー・TDP-43・ALS(若林孝一)
 - ・プリオン病(北本哲之)
 - ・ニューロパチー(神田隆)
 - ・脳腫瘍(1) グリオーマ関連(廣瀬隆則)
 - ・脱髄・髄鞘障害性疾患(柿田明美)
- (※演題名と時程は若干変更になる可能性がございます。)

定員：500名

参加費：教育セミナー参加者7,000円(事前受付)、8,000円(当日受付)

参加方法：第52回日本神経病理学会総会学術研究会ホームページ

(URL :<http://www.secretariat.ne.jp/jsnp52/>)の「参加登録/教育セミナー」からお申込みください。

問い合わせ先：

学術研究会事務局：第52回日本神経病理学会総会学術研究会事務局

京都府立医科大学大学院医学研究科
分子病態病理学 伊東恭子

TEL/FAX: 075-251-5849

E-mail: jsnp52@koto.kpu-m.ac.jp

運営事務局：第52回日本神経病理学会総会学術研究会運営事務局

コンベンションリンケージ内

TEL : 06-6377-2188 FAX : 06-6377-2075

E-mail : jsnp52@secretariat.ne.jp